

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 高品質安定生産体制整備による施設野菜産地の形成  
計画作成主体 : 釧路町地域農業再生協議会  
対象品目 : 施設野菜(ペピーリーフ(水耕)、ミニトマト、トマト、きゅうり、ほうれんそう、かぶ)  
(栽培面積 4.5232ha)  
主な取組主体 : (株)あぐりソリューション  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加(単位面積)  
助成金の活用 : 整備事業(生産技術高度化施設のうち高度環境制御栽培施設)

## ポイント

地域の気象特性を活かした全天候型複層エアープOハウスと水耕栽培システムの導入による通年生産・販売。  
生産環境の自動制御システム導入による高品質・安定供給。  
上記により、消費者ニーズに対応した品目栽培を行い、販売額115.5%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積:4.12ha  
作付品目:トマト、ミニトマト、きゅうり、ほうれんそう、かぶ  
販売金額:79.4万円/10a

目標:H30年度

作付面積:4.5232ha  
作付品目:ペピーリーフ(水耕)、ミニトマト、トマト、きゅうり、ほうれんそう、かぶ  
販売金額:171.1万円/10a



## 推進体制

地域の関係者(釧路町、標茶町、農業協同組合、普及センター、農業関係者等)が一体となり事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

消費者ニーズや季節に対応した品目の多様化。  
太陽光電力活用による省エネを実施し、自動制御システム導入による安定生産を目指している。

## 事業効果

全天候型複層エアープOハウスを活用した水耕栽培システムにより、周年栽培体系を確立。  
高度環境制御栽培システムの導入により、高品質かつ高収量安定生産。  
消費者ニーズに対応した品目栽培が可能となり販路拡大を推進。

### ~ 施設野菜の販売額 ~

